

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2014-221674

(P2014-221674A)

(43) 公開日 平成26年11月27日(2014.11.27)

|                                |               |             |
|--------------------------------|---------------|-------------|
| (51) Int.Cl.                   | F I           | テーマコード (参考) |
| <b>B 6 5 D 25/04 (2006.01)</b> | B 6 5 D 25/04 | Z 3 E 0 6 2 |
| <b>B 6 5 D 77/20 (2006.01)</b> | B 6 5 D 77/20 | E 3 E 0 6 7 |

審査請求 有 請求項の数 5 O L (全 7 頁)

|            |                              |          |  |
|------------|------------------------------|----------|--|
| (21) 出願番号  | 特願2014-181526 (P2014-181526) | (71) 出願人 | 710006862                              |
| (22) 出願日   | 平成26年9月5日 (2014.9.5)         |          | しまうまプリントシステム株式会社                       |
| (62) 分割の表示 | 特願2008-53685 (P2008-53685)   |          | 鹿児島県日置市伊集院町清藤2110番地29                  |
| 原出願日       | 平成20年3月4日 (2008.3.4)         | (72) 発明者 | 藤田 哲也                                  |
|            |                              |          | 鹿児島県日置市伊集院町清藤2110-29 しまうまプリントシステム株式会社内 |
|            |                              | (72) 発明者 | 永用 一彦                                  |
|            |                              |          | 鹿児島県日置市伊集院町清藤2110-29 しまうまプリントシステム株式会社内 |
|            |                              | (72) 発明者 | 朝鶴 寧公                                  |
|            |                              |          | 鹿児島県日置市伊集院町清藤2110-29 しまうまプリントシステム株式会社内 |
|            |                              | Fターム(参考) | 3E062 AA01 AB10 AC02 EB08 EC01         |
|            |                              |          | 最終頁に続く                                 |

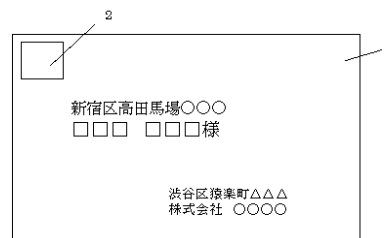
(54) 【発明の名称】 配送ケース

(57) 【要約】

【課題】従来、サイズの異なる写真等紙状の物品を封筒等で郵送する場合には角が傷ついたりして安全に郵送することはできなかった。

【解決手段】略直方体の枠体で、対向するそれぞれの板部に第1、第2の板部から略直角方向に延びた仕切壁をそれぞれ設け、第1と第2の収納室と、それぞれの収納室をまたがる第3の収納室を設け、第1と第2の収納室が略同一の場合には2種類の、第1と第2の収納室の大きさが異なる場合には3種類の紙状の物品を安全に送ることができる配送ケースを提供する。

【選択図】 図1



**【特許請求の範囲】****【請求項 1】**

相対向する第 1、第 2 の板部と、第 1、第 2 板部にそれぞれ接続する第 3、第 4 の板部と底部とからなる枠体と蓋部材からなる略直方体の配送ケースで、前記相対向する板部に相対する仕切壁を前記板部に垂直にそれぞれ設けた配送ケース。

**【請求項 2】**

前記蓋部材は前記枠体の頂部と前記仕切壁の頂部に対して接着または溶着等によって固定される請求項 1 に記載の配送ケース。

**【請求項 3】**

前記枠体と前記仕切壁のそれぞれの頂部の高さは略同一の高さである請求項 1 に記載の配送ケース。

**【請求項 4】**

前記仕切壁はそれぞれ前記板部の略中間に配されている請求項 1 に記載の配送ケース。

**【請求項 5】**

前記蓋部材、前記枠体はプラスチック材からなる請求項 1 に記載の配送ケース。

10

**【発明の詳細な説明】****【技術分野】****【0001】**

本発明は、写真、チラシ等を郵送、宅配便等で配送する配送ケースに関する。

20

**【背景技術】****【0002】**

従来は、写真を配送する場合には紙の厚い封筒に写真をいれ、厚紙でカバーして配送するケースが多かった。また写真を薄いビニール、ポリエチレンシートのような袋に入れられ、その写真が入れたものを封筒に入れられて配送していた。

**【0003】**

しかしながら、写真をビニール、ポリエチレンシートのような袋に入れて、その写真入りの袋を封筒に入れるのに二重に袋を用いるのに手間がかかった。そこで、特許文献 1 及び 2 のように直接透明なケースに写真を収納して郵送することも考えられた。

30

以下、図 1 2、図 1 3 に基づいて特許文献 1 及び 2 を説明する。

**【0004】**

図 1 2 は封筒一体型クリアファイルの斜視図である。印刷物である絵柄は封筒一体型クリアファイル表面の裏面から印刷している。封筒一体型クリアファイルの左板部 (c) は山折になっており、底板部は圧着されている。そのため左板部 (c) と底板部 (b) は閉じた状態になっている。上板部 (a) と右板部 (d) は開口しており、ここから書類等をはさんで使用するものである。

**【0005】**

図 1 3 は本考案の配送ケースは、収納部 2 1、該収納部 2 1 の端部で軸着されて収納部 2 1 をカバーする蓋 2 2 からなる。上記収納部 2 1 は浅い箱状であり、そのサイズは複数枚の横長のスナップ写真を収納するのに適したサイズ、例えば、手札サイズ又はサービスサイズの写真のサイズが約 80 ~ 95 mm x 115 ~ 130 mm であるので、この収納部の内寸法は該サイズとほぼ同じ又は幾分大きいサイズであることが示されている。

40

**【0006】**

【特許文献 1】 実用新案登録 3 1 0 6 9 4 7 号公報

【特許文献 2】 実用新案登録 3 0 2 9 3 7 0 号公報

**【発明の開示】****【発明が解決しようとする課題】****【0007】**

しかしながら、写真プリントには名刺サイズ、サービスサイズ、手札サイズ、集合写真

50

、風景写真のようなパノラマ写真を撮影した横長サイズ等の種々のサイズが存在する。特許文献 1 は写真を透明な袋に挿入して郵送できるが、写真の大きさが種々ある場合については考慮されていなかった。

【0008】

特許文献 2 は、写真を収納して郵送に用いるのであるが、その収納する写真の大きさについて以下のように記載されている。例えば、手札サイズ又はサービスサイズの写真のサイズが約 80 ~ 95 mm × 115 ~ 130 mm であるので、この収納部の内寸法は該サイズとほぼ同じ又は幾分大きいサイズであり、36 枚撮りのフィルムから現像したプリント全部が収納できるように、収納部の深さは約 10 ~ 16 mm が好ましいと記載されている。しかし、手札サイズとサービスサイズのサイズを収納部に収納することを述べているだけでどのように収納するかについて述べられていなく、バラバラに収納すると中で写真が動いて郵送中に傷つくおそれもある。

10

【課題を解決するための手段】

【0009】

上記目的を達成するために、本発明の請求項 1 は、相対向する第 1、第 2 の板部と、第 1、第 2 板部にそれぞれ接続する第 3、第 4 の板部と底部とからなる枠体と蓋部材からなる略直方体の配送ケースで、前記相対向する板部に相対する仕切壁を前記板部に垂直にそれぞれ設けた配送ケースを提供するものである。

【0010】

請求項 2 は、前記蓋部材は前記枠体の頂部と前記仕切壁の頂部に対して接着または溶着等によって固定される請求項 1 に記載の配送ケースを提供するものである。

20

【0011】

請求項 3 は、前記枠体と前記仕切壁のそれぞれの頂部の高さは略同一の高さである請求項 1 に記載の配送ケースを提供するものである。

【0012】

請求項 4 は、前記仕切壁はそれぞれ前記板部の略中央に配されている請求項 1 に記載の配送ケースを提供するものである。

【0013】

請求項 5 は、前記蓋部材、前記枠体はプラスチック材からなる請求項 1 に記載の配送ケースを提供するものである。

30

【0014】

前記枠体と前記蓋部材からなる収納ケースに仕切壁を設けることにより複数の収納室が設けられ、さらに複数の収納室をまたがり、単独の収納室より大きな収納室を設けることができる。

【発明の効果】

【0015】

上述したように本発明の配送ケースは、前記枠体と前記仕切壁でもって構成される複数の収納室のそれぞれのサイズに合わせて写真のようなシート状の物品を収納することでもでき、前記仕切壁と前記仕切壁の間隔を利用して複数の収納室をまたがり、収納室を組み合わせる先の商品よりも大きなシート状の物品を収納できる。シート状の物品として例えば、サービスサイズの写真、それより大きいパノラマサイズの写真を収納できる。また、複数の収納室を区切る仕切壁が設けられ、仕切壁の上部も蓋部材で固定されているので写真のようなシートが移動しないので運送中に傷つくことがない。

40

【発明を実施するための最良の形態】

【0016】

以下、本発明の実施形態の第 1 の実施例を図 1 ~ 図 8 に基づいて説明する。

【0017】

図 1 は本発明の配送ケースを郵送または宅配便で配送する場合の図を示す。

1 は蓋部材を、2 は切手を示し、蓋部材 1 には宛先、送付元等の送付記載事項が記載されている。また宅配便等では切手の代わりにバーコードシールが貼られる。

50

## 【 0 0 1 8 】

図 2 は切手 2 が貼られた、宛先、送付元等の送付記載事項が示された蓋部材 1 を示す。

## 【 0 0 1 9 】

図 3 は蓋部材 1 が接着、溶着等で固定される枠体 3 を示し、枠体 3 は前記底部と、第 1 の板部 3 A、第 2 の板部 3 B にそれぞれ直角に接続する第 3 の板部 3 C、第 4 の板部 3 D とからなり略直方体を形成する。枠体 3 の内側の 3 A、3 B のそれぞれの間に 4、5 で示す仕切壁が設けられ、所定の長さの仕切壁 4 は第 1 の板部 3 A の一部 3 A X と他部 3 A Y の間に設けられ、仕切壁 5 は第 2 の板部 3 B の一部 3 B X と他部 3 B Y の間に設けられている。

## 【 0 0 2 0 】

第 1 の板部 3 A の一部 3 A X と仕切壁 4 と仕切壁 5 と第 2 の板部 3 B の一部 3 B X と第 3 の板部 3 C と底部 6 とで第 1 の収容室を構成し、第 1 の板部 3 A の他部 3 A Y と第 4 の板部 3 D と第 2 の板部 3 B の他部と仕切壁 5 と仕切壁 4 と底部 6 とで第 2 の収容室を構成する。

## 【 0 0 2 1 】

図 4 は図 3 における A - A 断面を示し、第 3 の板部 3 C の側部 3 C H の頂部 3 C T、第 4 の板部 3 D の側部 3 D H の頂部 3 D T と仕切壁 4 の頂部 4 T の底部 6 からの高さは略等しい。

## 【 0 0 2 2 】

図 5 はシート状の物品 P 1、P 2 がそれぞれ第 1 の収容室と第 2 の収容室に積載されているのを示す。

## 【 0 0 2 3 】

図 6 は、第 3 の板部 3 C の一部と仕切壁 4 と第 4 の板部 3 D の一部と仕切壁 5 と底部 6 とで第 3 の収容室を構成し、図 5 のように 2 枚のシート状の物品が積載される代わりに 1 枚の大きなシート状の物品 P 3 が積載されている図を示す。

## 【 0 0 2 4 】

図 7 ははじめにシート状の物品 P 1、P 2 を積載し、次に P 3 を積載した状態を示す。

## 【 0 0 2 5 】

図 8 は図 5 における B - B 断面の図を示し、シート状の物品 P 1、P 2 が積載された状態を示す。

## 【 0 0 2 6 】

図 9 は本発明の第 2 の実施例を示し、仕切壁 4、5 を板部 3 A、板部 3 B の略中間に設け、それぞれ第 1 収容室と第 2 収容室が略同一の大きさである。図 10 は図 9 の C - C 断面図を示す。

## 【 0 0 2 7 】

第 1 の実施例、第 2 の実施例においても、収容したシート状の物品が第 1 の収容室と第 2 の収容室との間で移動しないように仕切壁 4、5 を設け、そして蓋部材 1 が枠体 3 に接着または溶着で固定する。また、仕切壁 4 と仕切壁の 5 の空間で第 3 の収容室を構成するので収容されるシート状の物品の大きさによって仕切壁 4、5 の長さ、仕切壁 4、5 の先端の間隔を決定する。

## 【 0 0 2 8 】

図 11 はサイズの同一のシート状物品 P 1 を第 1 の収納室と第 2 の収納室に収納し、その上にサイズの大きなシート状物品 P 3 を第 3 収納室に収納した状態を示す。

## 【 図面の簡単な説明 】

## 【 0 0 2 9 】

【 図 1 】 本発明の配送ケースを郵送または宅配便で配送する場合の図。

【 図 2 】 蓋部材を示す図。

【 図 3 】 蓋部材が接着、溶着等で固定される枠体を示す図。

【 図 4 】 図 3 の A - A 断面図。

【 図 5 】 シート状の物品 P 1、P 2 がそれぞれ第 1 の収容室と第 2 の収容室に積載されて

10

20

30

40

50

いる図。

【図 6】第 3 の収容室にシート状の物品 P 3 が積載されている図。

【図 7】シート状の物品 P 1、P 2、P 3 が積載されている図。

【図 8】図 5 の B - B 断面図。

【図 9】本発明の第 2 の実施例を示し収容室 1 と収容室 2 が略同一の大きさである場合を示す図。

【図 10】図 10 の C - C 断面図。

【図 11】シート状の物品 P 1、P 3 が積載された図。

【図 12】特許文献 1 の代表図。

【図 13】特許文献 2 の代表図。

10

【符号の説明】

【0030】

1 蓋部材

2 切手

3 枠体

3 A 第 1 の版部

3 A X 1 の板部 3 A の一部

3 A Y 第 1 の板部 3 A の他部

3 B 第 2 の版部

3 B X 第 2 の板部 3 B の一部

20

3 B Y 第 2 の板部 3 B の一部 3 B X 他部

3 C 第 3 の版部

3 C H 3 C の側部

3 C T 3 C H の頂部

3 D 第 4 の版部

3 D H 3 D の側部

3 D T 3 D H の頂部

4 仕切壁

4 T 仕切壁 4

5 仕切壁

30

6 底部

2 1 収納部

2 2 蓋

A 断面

B 断面

C 左板部

a 上板部

b 底板部

c 左板部

d 右板部

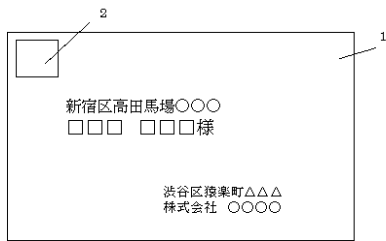
40

P 1 シート状の物品

P 2 シート状の物品

P 3 シート状の物品

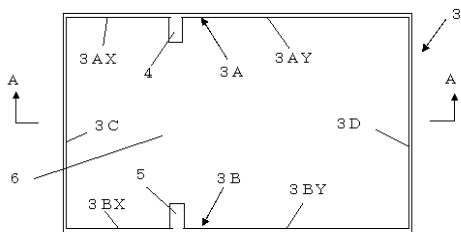
【図 1】



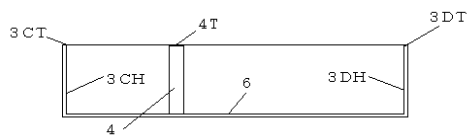
【図 2】



【図 3】



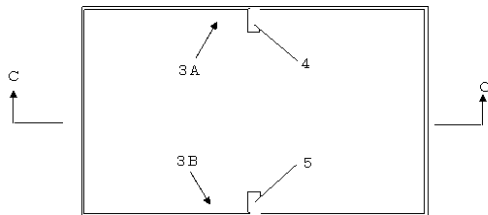
【図 4】



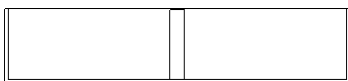
【図 8】



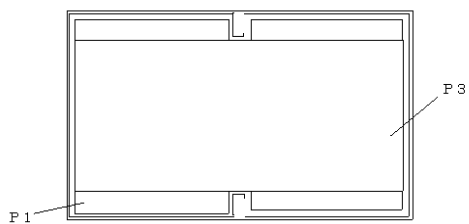
【図 9】



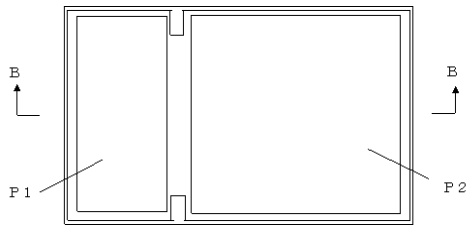
【図 10】



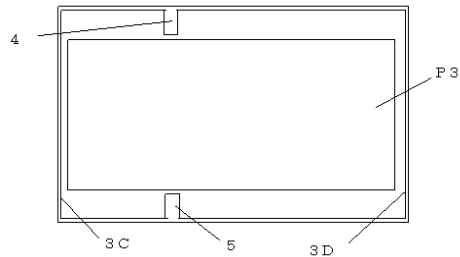
【図 11】



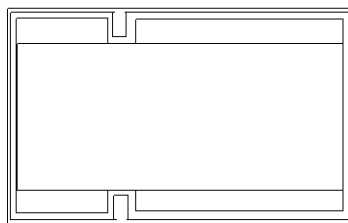
【図 5】



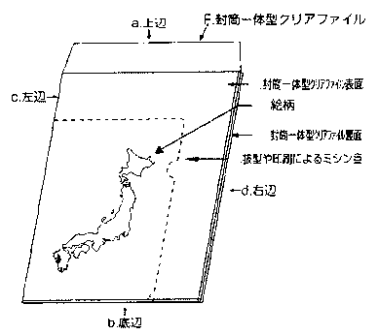
【図 6】



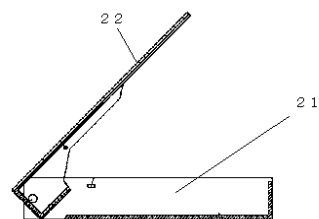
【図 7】



【図 12】



【図 13】



---

フロントページの続き

F ターム(参考) 3E067 AA12 AC03 BA05A BB14A BC06A BC07A EA04 EA06 EE01 FA01  
FC01 GD10